

第29号 (2011-3) 2012年2月1日

大学評価学会通信

目 次

◆ 第9回大会ご案内	1
◆ 研究会の報告	2
◆ 理事会報告	3
◆ 第5期理事の選出について・学会日誌	6

第9回全国大会を早稲田大学で開催します

大学評価学会事務局

大学評価学会第9回全国大会は、2012年3月10日（土）、11日（日）の2日間、早稲田大学で開催されます。大会2日目の3月11日は、東日本大震災・福島原発事故からちょうど1年となります。この1年は、大学のありようだけでなく、大学評価のありようを問いかける1年でもあったと思います。

今大会では、広渡清吾会員（専修大学、前日本学術会議会長）が「東日本大震災・原発事故と社会のための学術」のテーマで記念講演を行います。「『質保証』を問い直す ― 発達保障からのアプローチ ―」のテーマで行われるシンポジウムには、藤田英典氏（共栄大学）をお招きし、「大学教育・教養教育の現代的課題とその評価・質保証の在り方について」のテーマでご報告いただきます。また、渡部昭男会員（神戸大学）が「『発達保障』50周年と『Right to Development』―大学評価学会の掲げる『学生の発達保障を可能にするような教育・研究のありよう』とは―」のテーマで報告します。

今年の全国大会では、分科会の数を4つとしました（会員報告の分科会を含む）。2日目（11日）の午前には、「学校評価から学ぶ」というテーマで、小中学校や高校における評価の動向をとりあげます。これは、本学会としては新しい試みであります。大会の詳しい内容については、同封の大会プログラムをご覧ください。

多数の会員のみならず、第9回全国大会にご参加されますよう呼びかけます。

主催校挨拶

大会実行委員長 早稲田大学 岡山茂

今春の早稲田キャンパスは政治経済学部の建物が新築中でたいへん混雑しております。またいつものように2月に入試が実施できなくなる場合に備えて（インフルエンザの流行などが想定されているようです）、3月5日から10日までの週のキャンパス内のすべての建物が教務部によってさし押さえられてしまいました。したがって今回の10日（土曜日）の会場はキャンパス外にある22号館という、大学が買収した近隣のオフィス・ビルとなりました。皆様にはご不便をかけてまことに申し訳ありませんが、3・11からまだ一年しか経たない状況で何事もなかったかのように全国大会ができることのほうが不思議かもしれませんので、どうかご容赦ください。

昨年の大会は3月12日と13日に京都橘大学で行なわれ、まさに地震と津波の直撃を受けました。それでも京都という地の利によって大会は滞りなく行なわれ、私は東京から13日のみ参加することができました。大会が終わって京都駅近くで打ち上げをしたとき、原発の建屋が複数爆発しているニュー

スをどなたかのパソコンの画面で見た覚えがあります。そのときはお酒の勢いもあってさしたる不安もなく東京に戻ったのでした。

それから1年のあいだに、日本では、政治や司法やマス・メディアやアカデミーが作り上げていた「安全神話」が崩れ、反原発のデモが起こり、そのせいではないけれども政権も変わりました。世界では、「アラブの春」や「フクシマ」や「ユーロ危機」や「T P P」が相次ぐなか、アメリカが自ら作りだしたグローバリゼーションの流れから撤退し始めました。フランスのサルコジ大統領もいまや「トービン税」を口にしています。いま野田首相が「退路を絶って」取り組むというのが「消費税」であり、大阪市長が闘う相手が「日教組」であるというのは、優先事項をとり間違えているのではないかという危惧の念をぬぐえません。

大学をいかに評価するかという原点に立ち戻れば、学会としてもきわめて多くのことを学ぶことができた1年でした。今年の第9回大会を、いまの流れに私たちが押し流されず、かつ取り残されないようにするための指針を示すような、あるいは来年の10周年記念大会への確かなステップとするような、よい機会にできればと思います。どうかよろしくご協力ください。

〈第9回全国大会に関する事務局からのご連絡〉

会員のみなさまに大会プログラム各3部を同封しております。ご関心の方に、お渡しいただきますようお願いいたします。余部が必要な場合には事務局までご連絡くだされば、お送りさせていただきます。また、あわせて、この機会に大学評価学会への入会を呼びかけていただけますと幸いです。

第35回 研究会を開催しました

2011年11月12日（土）午後、早稲田大学（早稲田キャンパス）において第35回研究会を開催しました。報告者およびテーマは、渡部昭男氏（神戸大学）「高校授業料無償化の争点－法制定過程とその後－」、重本直利氏（龍谷大学）「教育・研究にふさわしいマネジメントへの転換、P D C AサイクルからC D H Aコミュニケーションへ－日本私大連盟・P D C Aサイクル研修批判－」でした。

渡部報告では、大学評価学会における「無償化」研究（2004年～）、教育基本法決定に係る「無償化」論議（2006年）、高校授業料無償化法案に係る「無償化」論議（2008年～）について考察が行われました。そのうえで、法律施行後の文部科学省による高校授業料無償化の説明（3つの理由）を、これが高等教育にも妥当するかどうかという問題を提起しました。そして、義務でも準義務化でもない高等教育、「授業料」自体を問い直す、勤労納税者との不公平感、という3つの論点を示されました。最後に、大学ゆえの無償論（白石嘉治）、人生前半の社会保障（広井良典）、ベーシック・インカム（小沢修司）の3つの主張を紹介されました。

重本報告では、日本私大連盟の「マネジメントサイクル（P D C Aサイクル）修得研修」のもつ問題点として、ツリー構造図、目標の効率的達成のための組織化原理、数値目標がなければダメであるとの主張、の3点を指摘しました。そのうえで、教育・研究にふさわしいマネジメントへの転換ということで、「ツリー構造図」から「ネットワーク関係図」へという提案を行いました。コミュニケーションという場における、「目標（P）－評価（E）」を核とした問題共有（C）、問題発見（D）、問題解決（H）、問題解決の実践（A）の四つの（「段階」ではなく）「相」の相互作用関係性から改善を継続

的に確保していくというものです。そして、人間の相互作用過程を中心とした諸関係性のマネジメントの必要性です。

いずれの報告も大変興味深いものであり、研究会だけでなく研究会終了後の懇親会を含め、活発な議論が行われました。本研究会は、龍谷大学社会科学研究所（大学評価・大学経営研究センター）2011年度第3回研究会との共催で開催されました。

最後になりましたが、（懇親会を含め）開催にあたってご尽力いただいた岡山茂理事（早稲田大学）に感謝申し上げます。
（文責：細川孝）

理 事 会 報 告

第Ⅳ期第6回理事会

日時：2011年8月28日（日）10:00～12:10

場所：名古屋大学教育学部（1階）大会議室

出席：理事9名、委任状理事8名、欠席理事2名（なお、出席幹事3名）

【報告事項】

1. 『現代社会と大学評価』第6号、第7号の編集について

学会事務局から『現代社会と大学評価』第6号が9月上旬に納品予定であることが報告された。第7号については、編集状況の把握が十分できていないが、理事会としての方向性を確認し、編集委員会に伝えることとなった。

2. シリーズ本の編集について（第4巻、第5巻）

担当の重本幹事（研究企画委員会）からシシリーズ本の刊行状況について報告があった。第5巻については出版社から300部買い取り、会員に1部ずつ配布すること、第3～5巻については会員8掛け、執筆者6掛けの価格とすることが確認された。

3. 第33回・第34回研究会ならびにサマーセミナーについて

事務局および担当理事から第33回（6月18日）・第34回研究会（8月27日）ならびにサマーセミナー（8月26日、27日）の報告があった。

4. 労務理論学会「非常勤講師問題に関する緊急ミーティング」の共催について

事務局から労務理論学会と共催した「非常勤講師問題に関する緊急ミーティング」（6月12日）の報告があった。

5. 「学会通信」第27号について

事務局から「学会通信」第27号を5月30日付で発行したとの報告があった。

6. 財政報告

事務局から8月19日現在の財政状況について報告があった。

【審議事項】

1. 第Ⅳ期第4回および第5回議事録（案）承認について

第Ⅳ期第4回（2011年3月12日開催）および第5回（2011年3月13日）理事会議事録（案）を承認した。

2. 会員の異動について

4名の加入を承認した。2名の退会を承認した。入退会承認後の会員数は、以下のとおりとなった。

会員 214人、協力会員 7人（うち団体会員2）、計 221人（団体2を含む）。

3年間会費未納にもとづく自然退会（学会規約の内規3.）の処理については、再度該当の会員に督促の上、次回理事会（2011年11月12日開催予定）に除籍処理を提案することを承認した。

3. 会員の拡大について

会員数の漸減傾向を踏まえ、改めて積極的に会員の拡大に取り組んでいくことを承認した。①年報とシリーズ本のバックナンバーを活用する、②（理事・幹事から提供のあった名簿にもとづいて）事務局から入会対象者に入会呼びかけ文を送付するなどの取り組みを具体化していくことを確認した。

4. 第9回全国大会（2012年3月10日～11日、於：早稲田大学）について

（大会プログラムとして確定したため省略）

5. 第35回研究会について

第35回研究会の概要を承認した。

6. 第V期理事会（2012年3月～2015年3月）の推薦について

「次期理事推薦候補者名簿」の作成基準を以下のとおり承認した。

①若手理事の選出、②女性理事の選出、③地域性の考慮、④事務職員理事の選出（3名）、⑤4期連続理事の一定数の「入れ替え」

なお、具体的な候補者名簿を確定するのに先立って、現理事の意向をうかがったうえで、代表理事、副代表理事を中心に協議した原案を、次回理事会以降に提案する。

7. 第2回田中昌人賞の選考について

選考委員会の構成を承認した。

「学会通信」次号（10月発行予定）で会員に推薦を求めることを承認した。受付は学会事務局とし、推薦の〆切を2012年1月10日とする。2012年3月10日の理事会で、報告・審議する。

理事任期の3年化にともなって、運営規程の改正について2012年3月開催の理事会に提案することを承認した（選考を2年ごととすることは変更しない）。あわせて、選考手続き上、必要な事項についても規程に盛り込むことを提案することを承認した。

8. シリーズ本の編集について（第6巻以降）

シリーズ本、第3巻以降、各巻ごとに編集委員会が構成されていることを追認し、第6巻以降も各巻ごとに編集責任を明確にすることが承認された。シリーズ本編集委員会は、理事会に対してシリーズ本の刊行についての提案を行うことに機能を限定する。

津田理事から第6巻（テーマは、事務職員）の編集状況について報告があり、編集責任は、塩野、津田、村上の3人の理事であることが確認された。

9. 第10回全国大会（2013年3月）の開催校について

第10回全国大会の開催校を龍谷大学とすることを承認した。

以上

第Ⅳ期第7回理事会

日時：2011年11月12日（土）10:30～11:30

場所：早稲田大学（早稲田キャンパス）9号館6階 第2小会議室

出席：理事8名、委任状理事9名、欠席理事2名（なお、出席幹事8名）

【報告事項】

1. 『現代社会と大学評価』第6号の刊行と第7号・第8号の編集について

事務局から、年報、第6号を9月20日付で刊行し、シリーズ本、第5巻とともに会員宛に送付したことが報告された。あわせて、年報、第7号については、印刷会社との関係で、学会事務局で対応することとなったことが報告された。

2. シリーズ本、第6巻の編集について

担当編集委員の塩野理事から、2012年3月に開催の全国大会までに刊行予定であることが報告された。

3. 「学会通信」第28号について

事務局から「学会通信」第28号を10月20日付で発行したとの報告があった。

4. 財政報告

事務局から11月10日現在の財政状況について報告があった。

5. 第2回田中昌人賞の選考について

事務局から「学会通信」第28号において、第2回田中昌人賞の候補作の推薦を求める広報を行ったとの報告があった。

【審議事項】

1. 第Ⅳ期第6回理事会議事録（案）承認について

第Ⅳ期第6回理事会（2011年8月28日開催）議事録（案）を承認した。

2. 会員の異動について

1名の加入を承認した。7名の除籍を承認した。入会ならびに除籍承認後の会員数は、以下のとおりとなった。

会員 208人、協力会員 7人（うち団体会員2）、計 215人（団体2を含む）。

3. 第9回全国大会（2012年3月10日～11日、於：早稲田大学）について

（大会プログラムとして確定したため省略）

4. 第Ⅴ期理事会（2012年3月～2015年3月）の推薦について

現理事の意向をうかがったうえで、代表理事、副代表理事を中心に協議した原案を作成することを承認した。

以上

第5期理事の選出について

理事選出管理委員会

大学評価学会規約内規6. にもとづき、大学評価学会第5期理事の「会員からの立候補者ないしは会員3名の推薦による立候補者」を受け付けます。第9回全国大会の際に開催される総会（2012年3月10日）の2週間前である2012年2月25日までに、書面で下記の理事選出管理委員会まで届け出てください。

612-8577 京都市伏見区深草塚本町67番地 龍谷大学経営学部
三島倫八研究室気付 大学評価学会理事選出管理委員会 宛

《内規》

6. 理事の選出にあたっては、会員からの立候補者ないしは会員3名の推薦による立候補者および前期理事会の推薦による候補者を、選出管理委員会が総会2週間前までに受付し、候補者名簿を作成、総会時に名簿を掲示する。候補者が理事定数を超えた場合は総会時に出席会員による投票を行い、上位者をもって当選者とする。なお、候補者が理事定数内の場合は総会議決(第21条)にもとづいて選出するものとする。また、在任期間中に理事が辞任した場合、理事会は補充を行うことができる。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

【大学評価学会の日誌】

2011年11月12日（土） 第35回研究会、第IV期第7回理事会（於：早稲田大学）

<予定>

2012年2月25日まで 第V期理事の「会員からの立候補者ないしは会員3名の推薦による立候補者」受け付け（理事選出管理委員会）

3月上旬 会計監査（於：龍谷大学）

3月10日（土）、11日（日） 第9回全国大会（於：早稲田大学）

3月10日（土） 第IV期第8回理事会、第9回総会（同）

3月11日（日） 第V期第1回理事会（同）

編集・発行：大学評価学会 共同事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1-16
大阪大学・大学教育実践センター
望月研究室 気付
e-mail: taromoch@cep.osaka-u.ac.jp

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学 細川研究室 気付
Tel：075(645)8634（細川）
075(645)8542（林）
e-mail: hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp
URL： <http://www.unive.jp/>

<会費納入先> 郵便振替口座番号：00950-4-296005 名称：大学評価学会